

CONTENTS

2000

4

土と基礎

Vol.48 No.4 Ser.No.507

地盤工学会誌

口絵写真 | 高度技術による締固め
液状化に伴う地盤の流動と構造物への影響

小特集テーマ：高度技術による締固め（その1）

総説	我が国における最近の締固め管理手法と二、三の考察 1 ●藤井 弘章
報文	現場締固め特性に着目した統計的品質管理の方法 5 ●豊田 光雄/延山 政之
	GPS を利用した土の締固め自動管理手法の導入 9 ●三嶋 信雄/緒方 健治/北村 佳則/益村 公人
	重錘落下による鉄道盛土の締固め管理方法13 ●関根 悦夫/鴨 智彦/阿部 長門/丸山 暉彦
	振動ローラーの加速度応答を利用した粗粒材料の現場締固め管理について17 ●藤山 哲雄/石黒 健
	加速度センサーと GPS を組み合わせた締固め管理システムの開発21 ●古屋 弘/藤原 宗一
	地盤の衝撃特性を利用した厚層締固め管理手法25 ●北本 幸義/安本 敬作/鬼木 剛一/藤崎 勝利
	見かけ比抵抗を用いた盛土管理手法の開発と適用事例29 ●植野 修昌/新美孝之介/丹羽 誠/松井 保

ISOだより	第1回 ISO 国内審議団体としての地盤工学会33 ●地盤工学会 ISO 検討委員会
特別会員 PRコーナー	(株)熊谷組, 東洋紡績(株), 安藤建設(株)35

複写をされる方へ

本誌に掲載された著作物を複写したい方は、(社)日本複写権センターと包括複写許諾契約を締結されている企業の従業員以外は、著作権者から複写権等の行使の委託を受けている次の団体から許諾を受けて下さい。著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、直接本会へご連絡下さい。

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル 学術著作権協会
電話 03-3475-5618 FAX 03-3475-5619 E-mail: kammori@msh.biglobe.ne.jp

アメリカ合衆国における複写については、次に連絡して下さい。
Copyright Clearance Center, Inc.
222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA
Phone: (978) 750-8400 FAX: (978) 750-4744 www.copyright.com

Q & A	地盤の液状化が想定される地盤上の盛土の地震時安定性36 ●岡村 未対
ニュース	国際会議のお知らせ37 ●国際部
支部ねっと	親子見学会—土でダムをつくる：現場をみてみませんか？—の報告38 ●中村 晋
講座	液状化に伴う地盤の流動と構造物への影響 6. 地盤の流動に対する対策工（その2） 7. 講座を終わるにあたって39 ●佐藤 毅／岡田 進／安田 進 杭基礎の鉛直載荷～変位特性の評価法入門 5. 載荷試験による荷重～変位特性の評価方法（その2）46 ●青木一二三／林 正宏／加藤 一志 不連続性岩盤の調査・解析と評価 4. 不連続性岩盤における調査・解析事例（応力変形問題）（その1）51 ●亀村 勝美
学会活動 から	「地盤調査および設計の現状とあり方」に関するアンケート調査57 ●「我が国の基礎設計の現状と将来のあり方に関する研究委員会」地盤調査法 WG
	中国地盤工学会会長 楊 灿文（Yang Can-Wen）先生のご逝去を悼む前付 平成11年度地盤工学会賞受賞者の決定61 近着の市販雑誌，委員会開催報告，新入会員62 編集後記64 本号の ABSTRACT65